

# 前期講座受講生募集

①大河ドラマ『軍師官兵衛』ゆかりの大阪					日曜日【1限目】 10:30～12:00
内容	平成26年大河ドラマ『軍師官兵衛』の主人公・黒田如水は秀吉の天下統一を支えた名軍師で、大阪にもゆかりの場所が多くあります。司馬遼太郎『播磨灘物語』など歴史小説で描かれた官兵衛像とその実像とを比較し、大河ドラマを別の角度から楽しみましょう。				
1	4/27	司馬遼太郎『播磨灘物語』の黒田官兵衛像	4	6/8	現地講義：官兵衛ゆかりの大阪を歩く
2	5/11	歴史小説の官兵衛と、史実の差	5	6/22	官兵衛はなぜ棄教したか？キリシタン大名としての官兵衛
3	5/25	官兵衛ゆかりの関西の史跡	6	7/6	秀吉の最も恐れた男・官兵衛 もし関ヶ原がなかったとしたら？

②日本社会の“いま”をとらえる					【四天王寺大学特別公開講座】	日曜日【2限目】 13:00～14:30
内容	今世紀に突入して、はや14年。日本社会はずいぶん変貌しました。この講座では、高度成長期以降の動向を踏まえながら、さまざまな領域から日本社会の“いま”をとらえていきます。					
1	4/20	「無縁社会」のゆくえ	7	6/8	日本の和食は世界の和食	
2	4/27	リスクいっばいの社会に生きる	8	6/15	きものの変遷をたどって	
3	5/11	非正規雇用の広がり和社会福祉	9	6/22	刑務所の現状からみる日本社会	
4	5/18	福祉国家の形成と現在	10	6/29	アディクション/依存症と現代社会	
5	5/25	裁判員制度の現在-施行から5年目を迎えて-	11	7/6	グローバル化で変わる日本の企業経営	
6	6/1	最高裁が提起する家族法の問題点-家族は変わったか-	12	7/13	国境のない世界で生きる知恵	

③羽曳野市の木「橘」について学ぼう					日曜日【3限目】 15:00～16:30
内容	常緑の柑橘類である橘は垂仁天皇から命を受けた田道間守が、常世の国(中国南部からインド周辺)に出向き、持ち帰ったものとされ、万葉集などに歌われるなど歴史上にも多くその名が登場します。その歴史を知るとともに、橘をキーワードにした各地で行われている取り組みなど橘についての理解を深めます。				
1	4/20	ヤマトタケルノミコトとオトタチバナヒメ	7	6/8	和歌文学にみる「橘」
2	4/27	現地講義：豊田八幡宮と橘	8	6/22	現地講義：明日香村散策
3	5/11	橘三千代～羽曳野がうんだ、律令国家草創期のキーウーマン	9		
4	5/18	「万葉集」にみる橘	10	6/29	歌劇★ビジュアル「田道間守物語」の制作話&ミニショー
5	5/25	未来につなぐお菓子の歴史	11	7/6	日本古代の聖樹と橘-タジマモリ・ヤマトタケル伝承などから-
6	6/1	奈良橘街道プロジェクト	12	7/20	羽曳野市と橘

④映像ドラマの面白さと、実作による自己発見					【大阪芸術大学提携講座】	水曜日【1限目】 10:30～12:00
内容	まず映画の面白さを話題作品を通じて知っていただき、映像的発想の方法やドラマの基本を学び、短いシナリオ(台本)を書き、それを元に約3分の映像作品を製作します。座学と実習を繰り返すので、受講すれば誰でも納得した役割分担と、作品が出来るようになります。					
1	4/23	映画の楽しさを知る(話題作品を通じて)	7	6/11	シナリオ実作(やってはならないミス集)	
2	5/7	映像的描写と映画制作の流れ(シナリオの表現)	8	6/18	シナリオ実作(自作を使って本読み)	
3	5/14	シナリオ的発想の方法(発想トレーニング)	9	6/25	演出・キャスティング(出演者を皆で決める)	
4	5/21	キャラクター・ストーリー(人物・物語を作る)	10	7/2	作品制作(自作を使ってリハーサル・撮影)	
5	5/28	ト書き・セリフの書き方(映画のシナリオを使って)	11	7/9	作品制作(撮影・編集)	
6	6/4	本読み(プロの台本を使っての読み合わせ)	12	7/16	作品の合評	

⑤長寿社会における医療と健康づくり					【太成学院大学提携講座】	水曜日【2限目】 13:00～14:30
内容	超高齢社会といわれる現在、地域社会で暮らしているすべての人々が自分らしい充実した生活を送れるよう、健康を阻む要因や健康づくりのあり方などについて一緒に考えてみましょう。					
1	4/23	ヒトと心を健康にする気功とアメリカの代替医療	7	6/11	アルコール依存症～お酒を止められないのは病気？～	
2	5/7	高齢者の健康とまちづくり～長寿の道は「協働から」～	8	6/18	更年期以降の女性とその家族の健康～円熟と孫育て～	
3	5/14	ヒトの身体に棲む細菌の役割	9	6/25	現地講義：介護に役立つ楽な身体の使い方～ボディメカニクス～	
4	5/21	自分でできるリンパ・マッサージ	10	7/2	プラス思考で健康づくり	
5	5/28	老後を生きる～加齢現象を知ろう～	11	7/9	中高年が身につけたい運動習慣～健康効果について～	
6	6/4	子育てについて	12	7/16	中高年の体に筋肉が付く運動～超簡単運動の実践～	

<b>⑥-百舌鳥・古市古墳群をより深く知るための-世界遺産講座Ⅳ</b>					土曜日【3限目】 15:00~16:30
内容	世界遺産登録が進められている百舌鳥・古市古墳群をめぐる、古代の中国、朝鮮半島の王墓との比較、飛鳥時代の皇族墓との比較、古墳周辺の歴史環境、王者の石棺や陪塚、時代背景となる土器生産やその使用方法、倭王の系譜など、多彩な話題を取り上げます。				
1	4/23	古代中国の王陵をめぐる	7	6/11	野中古墳の発掘から半世紀-豊富な埋納遺物の調査と研究-
2	5/7	王陵と陪塚	8	6/18	倭王の時代の台所
3	5/14	百済の王陵-世界遺産登録を目指して-	9	6/25	巨大古墳を仰ぎ見る小古墳-長原古墳群と古市古墳群
4	5/21	始祖帝王ホムツワケの復権	10	7/2	王の棺-長持形石棺をめぐる諸問題-
5	5/28	倭の五王の時代の難波	11	7/8(火)	飛鳥時代の皇族墓
6	6/4	陶邑(すえむら)と倭王-須恵器生産の開花-	12	7/16	古市古墳群を誇るために-古墳ガイドの心得-

<b>⑦近畿の文学ミュージアム</b>					【学長企画講座】	土曜日【1限目】 10:30~12:00
内容	古代から文芸の中心地となってきた近畿には少なからぬ文学関連のミュージアムが点在します。その多くは著名な文学者を記念するものです。各館から招いたゲスト講師の解説を聴き、関西の文学風土に親しむ講座です。					
1	4/19	堺市立文化館 与謝野晶子文芸館	7	6/14	宝塚市手塚治虫記念館	
2	4/26	芦屋市谷崎潤一郎記念館	8	6/21	近代大阪の文人(直木三十五&三好達治)を顕彰する館	
3	5/10	近松記念館&近松研究所(園田学園女子大学)	9	6/28	播磨・但馬の文学館	
4	5/17	茨木市立川端康成文学館「川端康成のふるさと茨木」	10	7/5	田辺聖子文学館(大阪樟蔭女子大学)	
5	5/24	-歴史・文化の体験と創造-奈良県立万葉文化館	11	7/12	柿衛文庫	
6	6/7	宇治市源氏物語ミュージアム	12	8/2	逸翁美術館&小林一三記念館&池田文庫	

<b>⑧知って得する流通学</b>					【阪南大学提携講座】	土曜日【2限目】 13:00~14:30
内容	流通は、私たちの最も身近なテーマといえます。私たちが日常手にするモノ・コトは、企画、生産、販売、消費という流通によってもたらされます。本講座では、ビジネス・ブランド・スポーツという切り口から分かりやすく“知って得する”流通について学びます。					
1	4/26	グローバル企業のビジネスモデル-アップルとグーグル	7	6/14	消費税について考える-増税によってどうなったのか-	
2	5/10	スポーツを支えるスポンサーシップ	8	6/21	消費スタイルの変化と流通ビジネス	
3	5/17	最新のファッションビジネスから流通を読み解く!	9	6/28	再生可能エネルギー普及の可能性と課題	
4	5/24	コンビニエンスストアの情報戦略	10	7/5	数字から企業戦略を読み解く!	
5	5/31	「するスポーツ」のマネジメントにおける流通	11	7/12	お金の流れで見る日本経済	
6	6/7	楽天球団日本一への軌跡:球団経営黒字化への道	12	8/2	コカ・コーラのひみつ~Yes Coke Yes!	

<b>⑨「食」を考える</b>					【追手門学院大学提携講座】	土曜日【3限目】 15:00~16:30
内容	「食」という文字どおり日常茶飯事をテーマに、何をどのように、また何のために食べるのかといった問題や現代日本の食事情、観光・景観・映画・文学と「食」との関わりなどについて受講者と一緒に考えます。					
1	4/19	食の哲学 食べるとはどういうことか	7	6/7	ご当地グルメとフードツーリズム(2)	
2	4/26	現代日本の食事情(1)	8	6/14	食と景観(1)	
3	5/10	現代日本の食事情(2)	9	6/21	食と景観(2)	
4	5/17	ウナギを食べる:蒲焼の歴史	10	6/28	食と絵画/映画	
5	5/24	ウナギを食べる:世界のうなぎ料理	11	7/5	文学の中の食	
6	5/31	ご当地グルメとフードツーリズム(1)	12	7/12	食の倫理学 何を食べてはいけないか	

<b>⑩芸術の都・大阪-再発見 近代大阪の美術・音楽・演劇</b>					【大阪大学21世紀懐徳堂提携講座】	木曜日【イブニング】 19:20~20:50
内容	明治・大正から昭和まで大阪は日本を代表する商業都市として繁栄しましたが、同時に日本中から文化人・芸術家の集まる文化都市・芸術都市でもありました。本講座では美術・音楽・演劇の各分野における近代大阪の芸術を再考します。					
1	4/24	戦前の大阪モダニズムと美術-小出樞重と北野恒富ほか-	4	6/5	楽譜から見た近代大阪の音楽文化-大正期を中心に-	
2	5/8	楽器から見た近代大阪の音楽文化-明治期を中心に-	5	6/19	昭和初期の大阪の演劇	
3	5/22	明治大正期の大阪の演劇	6	7/3	戦後の大阪アヴァンギャルド-終戦から'70万博まで-	

お申し込み・お手続きについては次のページをご覧ください。

# - 応募要項 -

## 日程

[募集締切] 3月14日(金)必着。  
 [受講決定] 3月27日(木)までに受講の通知が届かない場合は、至急ご連絡ください。  
 [受講手続] 4月1日(火)～4月6日(日)の間に受講料をそえて市民大学事務室までお越し下さい。

## 定員と場所

講座②③⑤⑥ } 60人 羽曳野市立生活文化情報センター  
 (LICはびきの 3F視聴覚室)  
 ⑧⑨⑩ }  
 講座①⑦ } 30人 時とみどりの交流館  
 (峰塚公園管理棟)  
 講座④ } 20人 時とみどりの交流館  
 (峰塚公園管理棟)

※現地講義の場合は、現地までの交通費・見学料等は別途実費負担となります。  
 また、集合場所・時間などの詳細については決まり次第お知らせします。  
 ※定員を超えた場合は、講座ごとに抽選を行います。

## 資格

市内・市外を問わずどなたでもお申し込みできます。  
 ※介助(点訳・託児など)が必要な方は、その旨をお知らせください。  
 ※託児については、2歳児～就学前のお子様に限らせていただきます。それ以外は、ご相談ください。

## 費用

講座②～⑨(12回講義)、6,000円  
 講座①・⑩(6回講義)、3,000円  
 ※一旦納付された受講料は返金できません。

## 申込方法

[インターネット] はびきの市民大学ウェブサイト  
 ※1月15日(水)から受付しています。  
 [直接来館] 官製はがきを必ず持参の上、お越しください。  
 [往復はがき] 必要事項を記入して投函(下記参照)

<input type="checkbox"/> 往信用ハガキ表面 往信 〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内 はびきの市民大学	<input type="checkbox"/> 返信用ハガキ裏面 印字しますので お願いします。 無記入
<input type="checkbox"/> 往信用ハガキ表面 氏名(フリガナ) ・性別 ・年齢 ・郵便番号 ・住所 ・電話(FAX)番号 ・希望講座(複数可) 介助が必要な方はその旨をご記入ください	<input type="checkbox"/> 返信用ハガキ裏面 印字しますので お願いします。 無記入

はびきの市民大学  
 (業務受託者：株式会社みのりの里)  
 〒583-0854  
 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内  
 TEL 072-950-5503  
 FAX 072-950-5650  
 E-mail shimindaigaku@minorinosato.com

お問い合わせ

## - はびきの市民大学からのお知らせ -

### ボランティアさん募集中!

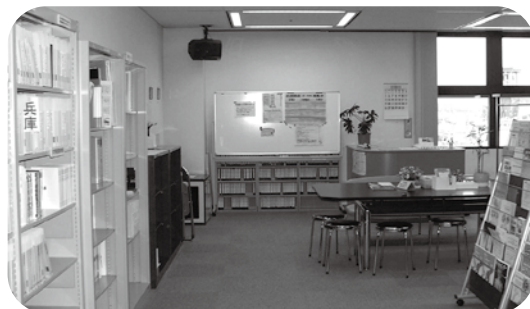
☆希望される時間や曜日はご相談ください。

- **介助グループ**  
 身体介助の必要な方や小さいお子さんをお持ちの方のために安心して市民大学を利用して頂けるよう、介助や託児を担当しています。
- **記録グループ**  
 「はびきの市民大学」学生通信を年2回発行しています。講師や受講生へのインタビューも行います。
- **講座グループ**  
 講座日に、講座の進行補助をしています。具体的には講座の準備・講座の撮影・資料配布・受講カードの回収等を行っています。
- **情報グループ**  
 LICはびきの2階の学習情報室で、来訪者への対応、パンフレットの整理などを担当しています。

### 学習情報室にお越しください。

場所：LICはびきの2F 開室時間：9時30分～16時30分  
 (祝日・年末年始以外にご利用いただけます。)

- 今年度と前年度の講座のDVDが視聴できます。  
 ※一部視聴制限により、ご覧いただけないものがございます。
- いろいろな講座や生涯学習のチラシ・パンフレットをご用意しております。



### 学位認定制度

はびきの市民大学では、講座の一定の出席数と、レポート提出をしていただきました後、単位を認定しております。その単位数が24単位に達しますとはびきの市民大学学士として学位記を授与(入学式にて)しております。

